



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2023年
 3月号
 (第80号)

今月のことば

「しかし、それでも切り株が残る。その切り株とは聖なる種子である。」(綿引康司選) (イザヤ書6章13節)

2022～2023年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなで喜びをシェア！」

東新部部长 深尾香子(東京多摩みなみクラブ)

「All 東新部、始動! Change! 2022 ラストスパート、ポスト2022 始動」

東日本区理事 佐藤重良(甲府 21)「未来に向けて今すぐ行動しよう」

アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン(台湾)「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

国際会長 ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)「輝かそう、あなたの光を」

《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 直前会長 深尾香子

書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)

今月の強調テーマ:「CS=地域奉仕」「グリーンプロジェクト」「メネット」

3月例会プログラム

日時: 3月7日(火) 18:30～20:00

会場: ベルブ永山3階講座室

(オンライン Zoom での参加もできます)

会費: なし (食事はありません)

司会: 伊藤江理夫

- *開会点鐘 伊藤幾夫会長
- *ワイズソング
- *今月のことば 綿引康司
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *会長挨拶
- *今月のスピーチ 慈有塾代表 高木実有さん
「お礼と近況報告」
- *チーム報告(農園、社協、地域奉仕)
- *YMCA ニュース、連絡等
- *ハッピーバースデー
- *オークション
- *閉会点鐘 会長

※オークションを行います。献品をお願いします。

3月のHappy Birthday

滝口恵子さん(1日)、藤田智さん(7日)

深尾香子さん(22日)

巻頭言「外国人介護福祉士にかかる期待」

2020年4月、コロナ禍とともに医療福祉専門学校へ着任し、早くも3年が過ぎようとしています。前回私の巻頭言(2021年9月)にて、コロナ禍における介護福祉・医療専門職業人育成の難しさをお伝えしました通り、この職業は、パンデミックにあっても、戦時下にあっても歩みを止めることができない職業です。一方で、その担い手不足は慢性化しており、介護福祉に関しては多くの外国人にも就労の門戸が開かれています。EPA 候補生、特定技能介護、技能実習介護、そして介護査証。介護査証を取得するためには、介護福祉士養成校を卒業し国家資格試験を受けなければなりません。日本の専門学校を卒業し、国家試験を受験し得る日本語力と知識・技術が必要となり、他の在留資格に比べると時間や労力や費用がかかることとなります。介護福祉の現場では介護査証以外で就労する外国人の方がはるかに多く働いています。しかし、介護施設を運営する法人は、学費を支援し、時間をかけてでもYMCAで学んで欲しいと入学者を紹介してくれます。現実問題として、多くの人手を必要としつつも、その人々を指導するリーダーとして期待されるのは、YMCAでしっかりと知識・技術を学んだ専門職業人なのです。(小野実)



2月例会	在籍12名 (内広義会員3名) 合同例会出席26名	出席内訳	メンバー	BF	ファンド
			10名	切手 集計中g(今年度累計 110g)	オークション 0円
			メーキャップ 0名	使用済み切手、少しでもご持参ください	(今年度累計 8,700円)
			出席率 89%	ぼんぼこファンド 0円	スマイル19,096円(ウクライナ支援)
			メネット 0名	(今年度累計 29,100円)	(今年度累計 43,018円)
			ゲスト・ビジター 16名		

2月例会報告

当クラブが今年度3回目の幹事を務める3クラブ(東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング)合同例会が、2月7日(火)18時半からベルブ永山講座室を主会場してZoomとのハイブリッドで開催されました。



開会点鐘、ワイズソング、今月の言葉、ビジター、ゲスト紹介、3クラブ会長挨拶に続いて、日本YMCA同盟の横山由利亜さんによるゲストスピーチ。タイトルは「侵攻1年—日本に避難するウクライナ人は今」でした。初めに、過去にNHKで報道された、日本YMCA同盟の避難民受け入れ活動、カフェHimawari(居場所、交流・教育の場)等の支援活動、日本に居る避難民の現状等の映像を約15分にまとめたものが紹介されました。続いて、避難民支援に至った経緯、当初の手探りの苦労、避難民受け入れ/生活支援の状況等が話されました。現在は「第4フェーズ」として12月から、中長期滞在定住支援(就業・教育支援等)を行っていますが、避難民の多くが、自分だけが避難している罪悪感、言語/未知なもの/将来への不安等によって、年代、性別によって異なる適応の問題を抱えている中、YMCAの得意とする分野のメンタルヘルスケアにも重点を置き、「共感」、「発散」(リフレッシュ)、グループカウンセリング、健康サポートを行っているとのことでした。ゲストスピーチの後には、来年度の当クラブの役員体制が拍手で承認されました。

スマイル献金は、全額19,096円が日本YMCA同盟ウクライナ支援募金に捧げられ、横山さんに手渡されました。(田中記)

《出席者》22名【当クラブ】石田、伊藤(幾)、伊藤(江)、井上、小野、滝口、田中、深尾、藤田【東京町田コスモス】加藤、権藤、松香【東京町田スマイリング】尾張、城田、諏訪、為我井【東京世田谷】小川【宇都宮】大久保【東京八王子】小口、久保田、並木(真)【東京たんぼぼ】小原【ビジター】横山由利亜、山尾研一、中里敦(合計26名)(内Zoom参加者9名(下線))

3月第2例会(運営会議)報告

2月13日(月)19:00から、Zoomで2月の第2例会が開催されました。今年度2回目の部長公式訪問であり、深尾部長の他に、他クラブから今井次期部長、佐藤監事、為我井国際・交流事業主査の東新部役員に参加いただきました。



例会報告、会計報告、3月例会プログラム、ブリテン構成等の定例報告・議事以外に、主に以下のことが話し合われました。

- 東日本区への各種献金の献金額、配分の決定
年初予算ではクラブ会計からの献金とメンバーの自主献金を合わせたものを各献金種目に配分し、全種目で目標額を達成できました。
- 第3回東西日本区交流会の参加報告
- ぼんぼこ農園の現状と今後の予定
- 町田福祉バザー(5/20(土))に参加し、ぼんぼこ農園の収穫物(タマネギ)や個人の献品の販売を行う。
- 石川さんから退会の申し出があったが、広義会員として残れないか伊藤会長がコンタクトする。
- 今年7月1日を目標として3クラブの合併を行うことに、当クラブとして賛同することが決議されました。他の2クラブの賛同を待って、今後、具体的にクラブ内、クラブ間で検討、相談、準備を進めていきます。(田中記)
《当クラブ出席者》石田、伊藤(幾)、小野、田中、深尾、綿引

自主献金の御礼

会計：綿引康司

今期の当クラブの自主献金は合計94,000円となりました。またクラブ資金のほかにメンバー7名から44,000円の篤志を頂戴し、結果全ての献金科目の基準額を達成することができましたことを合わせてご報告します。ありがとうございました。

各献金科目の金額と達成率は以下の通りです。

CS 献金 15,000円(133%)、ASF 献金 10,400円(231%)、FF 献金 6,900円(153%)、BF 献金 21,500円(119%)、TOF 献金 16,000円(137%)、RBM 献金 8,400円(117%)、YES 献金 6,900円(153%)、ユース活動支援 8,900円(198%)

3月例会 ゲストスピーチ

＜ゲストスピーカー＞

高木 実有 さん

(一般社団法人慈有塾代表)



「お礼と近況報告」

＜プロフィール＞

大学入学の2008年から学習ボランティアとして活動。NPO法人ポラリスプロジェクトジャパン(現:人身取引被害者サポートセンターライトハウス)を経て、2014年「慈有塾」を設立。仕事をしながら、もう一度勉強をやり直したい若者たちを対象に、無料塾である「慈有塾」をボランティアとして運営している。諸事情で「中卒」あるいは「高校中退」の若者に対して、高等学校卒業程度認定試験(高認)、大学受験の対策等を行っている。

＜当クラブとの繋がり＞

慈有塾代表の高木さんのと繋がり、当クラブの深尾香子さんのご紹介で、2021年1月例会にゲストスピーカーとして呼び出したのが始まりです。高木さんのお働きに対して、少しでもご協力できればと、当クラブの活動プログラム「プランター野菜講座」の余剰金からのご寄付や当クラブが運営する「ぼんぼこ農園」で採れた野菜などをお届けしています。また、最近では慈有塾の「ほしい物リスト」からの品物も寄贈しています(4面に詳細)。(伊藤幾記)

東新部 EMC セミナー報告

2月25日(土)13:30~16:10、東京YMCA 東陽町センター1階カフェテリアで開催されました。参加者は21名(内オンラインは8名)。テーマは「ワイズは楽しい!を取り戻しましょう!」です。司会は長澤弘さん(東京)。深尾部長の挨拶の後、2つの発題がありました。一つ目は加藤義孝さん(部会員増強事業主査:東京)。東新部の会員の減少化を数年の半年報をもとに示しました。このままだと、ワイズの存続が危ぶまれます。具体的な対策が必要と訴えました。2つ目は伊藤幾夫(部LT委員長:東京多摩みなみ)。加藤さんの発題を受けて、具体的な対策の「試み」として「クラブの統合」を提案しました。会員が増えると活動に活気が出る、活気があると注目度が高まり、人が集まる、その中から協力者が生まれ、会員に繋がる可能性がある。この実例として、2年間にわたる、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリングの3クラブの合同例会によって活気が生まれたこと、そして、3クラブとも会員が増えたことを報告しました。当クラブからの出席は深尾、綿引、伊藤の3名でした。(伊藤幾記)

東西日本区交流会開催報告

東西日本区の交流会が6年ぶりに、2月4日(土)、5日(日)、神戸ANAクラウンプラザホテルと神戸YMCAを会場として開催されました。今回は、ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年と両区創立25周年の祝賀を兼ねての開催です。約430名の参加者が、久しぶりの再開、新しい出会いを楽しみました。



交流会のテーマは、「語ろうワイズの未来! ともに手を取り次の100年へ」でした。セレモニーや晩餐会の他に、課題や将来の夢を語るワークショップ(深尾さんがパネラーのひとりでした)、両区が支援しているユースのSDGs関連プロジェクトの報告、アジア太平洋地域の100周年記念事業の紹介、DBC締結式等も行われました。特筆すべきことは、ライオンズ、ロータリー、キワニスの上級リーダーを、恐らく日本では初めて開催された「奉仕活動団体フォーラム」に招き、それぞれの組織や活動状況、課題を情報共有するフォーラムを開催したことです。今後もこれらの組織との関係を深め、協力し合っていくことが期待されます。これからのワイズ活動へのエネルギーが得られ、また、ワイズダムの発展のため、両区が一層力を合わせていこうという思いを新たにできた、楽しく有意義な2日間でした。当クラブからは伊藤幾夫さん・江理夫さん、深尾さん、田中が参加しました。(田中記)

《東西交流会に参加して》

当日は天候にも恵まれ、2日間にわたって開催された「第3回東西日本区交流会」は予想以上の参加者と熱気に驚きつつも嬉しい再会と貴重な出会いもあり、充実した時間はあっという間に過ぎました。特に印象に残っているのは、神戸YMCAの美しい会堂におけるコンサートや本会場でのコンサート。楽器を(趣味で)嗜んでいる私にとって偏った感想で恐縮ながら、BRAVO!を改めて送りたいです。しかし西日本区の方々は本当にエネルギッシュだ!私も新たに心熱くし、捧げ尽くさん!(伊藤江理夫)

4奉仕団体フォーラムでは、私たちのスタイルーYMCAのパートナーとして共に社会貢献を行う一が、他には無いということを知ることが出来ました。多摩市には、ロータリー2団体とキワニスがあり、共に社会福祉協議会に加盟しています。今後、協働出来たらと思いました。分科会「語ろう、ワイズの未来」では、パネラーの1人として、奉仕には一プログラムに参加することから、団体の運営を担うことまで一8つの異なる関わり方があるため、新入会者には永く、丁寧寄り添う必要があるということ語り合えたので、後期の活動に反映して行きます。(深尾香子)

慈有塾のほしい物リスト品お届け完了報告

2月2日(木)午前9時30分に「慈有塾」の高木実代表をお尋ねし、「ほしい物リスト」に掲載のあった品3点を寄贈してきました。この活動は、地元で地道に頑張っているNPO団体への支援活動の一環として2団体の支援対象の内、高卒資格認定受験者向けの無料塾を営む一般社団法人「慈有塾」にHP上でリクエストのあった数学Iの参考書と整理箱2セット、計3品をAmazonで購入し、現物が届いて直ぐに聖蹟桜ヶ丘駅近くの校舎にお届けに上がりました。大変喜んでいただくことができました。前回12月に手配した4層ディスプレイラックに続いて寄贈することになりました。4層ラックには、食品や文房具、などが分かりやすく整理されて展示されて役に立っていました。大したことはできないのですが、クラブの地域貢献活動の一環として継続的に取り組んでいます。支援の仕方、頻度など試行錯誤を重ねながら共に「well being」を目指して行きます。(石田記)



ぼんぼこ農園便り

2月23日(木)の午後、個人的な事情で忙しい日々が続いていましたが、漸く時間が取れ農園の様子を見てきました。冬から春への季節の変化を先取りするように農園の畑は、越冬野菜から春野菜に移行しつつあります。我がぼんぼこ農園でもジャガイモの植え付けを予定していましたが、今週後半の天候不順の前にジャガイモの植え付けを終わらせたいとして、前日の22日に佐々木さんが、一人で3列の畑に3種類のジャガイモの種芋を植え付けしてくれていました。3本の畝にきれいに整地され、土のぬくもりを4方向から受けて芋たちの新芽が見られるのを今から楽しみにしています。今年、どうだろう。コロナ禍の間は、なぜか不作で、害虫の影響が顕著に出ていましたが、今年こそその思いで思わずジャガイモ畑に手を合わせてしまいました。(笑)5月末から6月の初旬には、丸々と太ったジャガイモにお目にかかることを夢見ています。望みは高く、ポジティブな気持ちでジャガイモの成長を熱く見守りましょう。その他の玉ネギやニンニクに、今回初挑戦となるネギは、寒波にも負けずに逞しく成長していました。また、ジャガイモ畑の隣のエリアは、夏野菜と里芋用に今から養生を重ね、土の改良に時間をかけながら畑づくりをして行きます。(石田記)



YMCA ニュース

担当主事 小野 実

東京YMCAへのご理解、ご協力に感謝申し上げます。YMCA ニュースをお届けいたします。

<今後の予定>

- ・「東日本大震災記念講演会」3月11日
会場：東陽町センター（オンライン参加可）
講師：木島上氏（インターサーブ・ホスピタリティ開発事務所代表取締役）
- ・「liby チャリティーコンサート」3月11日
会場：在日本韓国YMCAスペースY
出演：越智光輝さんと愉快的仲間たち／三菱商事コーラス同好会
- ・「第32回チャリティーゴルフ大会」4月13日
会場：PGM総成ゴルフクラブ
- ・「東日本地区YMCA役員研修会」4月15日
オンライン
講師：寺島実郎氏（一般財団法人日本総合研究所会長／多摩大学学長）
- ・「第20回会員大会」5月27日
会場：山手センター（予定）

次期クラブ会長・部役員ワークショップ

次期クラブ会長・部役員ワークショップが3年ぶりにリアルで下記のとおり開催されます。

当クラブからの参加は、クラブ会長の伊藤幾、次期部会計の石田さん、部CS/Yサ事業主査の綿引さん、区CS/Yサ事業主任の代役として深尾さん、区監事の田中さんの計5人です。(伊藤幾記)

*日時：3月4日(土)～5日(日) 1泊2日

*場所：東山荘(日本YMCA同盟施設：御殿場)

これからの予定

- 3/4(土)-5(日)次期クラブ会長・部役員ワークショップ
- 3/7(火)3月例会 ベルブ永山&Zoom
- 3/10(金)～12(日)ワイズ100周年記念式典(台北)
- 3/13(月)第2例会 19:00～20:30 Zoom
- 3/21(火、祝)東京グリーンクラブ50周年記念会
出席：伊藤幾、田中
- 3/25(土)部次期準備会II 15:00～16:30 Zoom
- 4/8(土)～9(日)東日本区現・次期合同役員会
- 4/17(月)東新部現・次期合同役員会 19:00～Zoom
- 4/19(水)3クラブ合同例会 19:00～20:30
玉川学園コミュニティセンター
(ホスト：東京町田スマイリング)
- 4/22(土)第3回部評議会&次期クラブ役員研修会

編集後記 「3.11」から12年。「3.11を忘れない！」取り組みが各地で開催されます。「ロシアによるウクライナ侵攻から1年」「トルコ・シリア大地震」と合わせて、「常に目を覚ましていなさい！」という声に耳を澄ませたい。(i.i)